

アグファ・恵友印刷株式会社 :Apogee7 都内第 1 号導入共同記者発表

2011 年 4 月 27 日(水)に日本アグファ・ゲバルト株式会社(東京都品川区大崎 1-6-1 代表取締役社長 松石 浩行)と恵友印刷株式会社(東京都板橋区大原町 46 番 2 号 代表取締役 萬上圭輔)様は、同社が都内導入第 1 号となるアグファの:Apogee 7 を導入した事を記念しての共同記者発表を行ないました。

日本アグファ・ゲバルトの代表取締役社長 松石浩行から恵友印刷株式会社様にアグファのプリプレス関連製品の3本柱となる、現像レスCTPプレートの「:Azura TS(アズーラ TS)」、四六全判出力対応CTP「:Avalon N8(アバロン N8)」、進化型ハイエンドプリプレスワークフローの「:Apogee 7(アポジー セブン)」を同時にご導入いただき、本年2月発売の:Apogee 7は恵友印刷様が記念すべき東京都内第1号のユーザーとなりましたというお礼と報告の後、次のような挨拶がありました。

「印刷業界だけに留まらず産業界全体でここ数年、設備投資の減速化が続く中一連のアグファ製品をご導入頂けたことは恵友印刷様のより競争力を高めるための「攻めの経営」の具現化であり、その手段としてアグファ製品を選んで頂いた事を大変光栄に思います。特に:Apogee 7は最大の特長である「革命的な面付け機能」の:APOGEE Impose(アポジー インポーズ)を特にご評価頂き、その事から高精細スクリーニングである:Sublima(スプリマ)を始め:Apogee 7の実力を改めて認めて頂く事ができました。その結果、:Azura TSによる環境保護の推進から人材の多能工化、既存業務の省力化・効率化までを見据えた今回のトータルソリューションとしての導入に繋がったと考えております。」

恵友印刷株式会社の代表取締役 萬上圭輔様からは「現在の印刷会社は品質管理は当然のこと、生産性向上とコストダウンを同時に進めなければならない状況にあるが、昨今の厳しい状況下では時間をかけて取り組んでいく方向でいました。しかし、アグファ社の最適な提案を継続的に受けシステム導入を決断しました。コスト、品質、生産面は勿論、環境面でも優れており、:Apogee 7により合理的なワークフローを構築した事で、社内の生産体制の効率化も非常にスムーズになります」とご挨拶がありました。

続いて恵友印刷株式会社の取締役 社長室長 萬上孝平様より恵友印刷様の会社概要・設備、同社のサービス内容についてのご紹介がありました。

更に恵友印刷株式会社の取締役 板橋工場長/プリプレス部長 大島勝範様より当初は導入予定の無かった:Apogee 7が同社が進めている「人材の多能工を実現できる」ことから導入の決め手になったことなど、アグファ製品の導入の経緯について詳しいお話がありました。

最後に松石から都内第1号となる:Apogee 7を導入頂いた恵友印刷様に感謝の意を表し、花束及び記念品の贈呈がありました。

アグファについて

アグファ・ゲバルト グループ(本社:ベルギー、モーツェル)は、世界有数のイメージングメーカーであり、グループの2010年の全世界売上高は29億4800万Euro(ユーロ)となっています。印刷業界および医療用の写真・デジタル画像システム、などの各事業を展開しています。アグファのグラフィック システム製品としては、プリプレス工程で必要とされる各種フィルム、ペーパー、刷版、ケミカル、自動現像機を始め、カラーマネージメントシステム、CTP システム、ワークフローシステム、インクジェットプリンタに至るまで、総合デジタルソリューションが含まれています。アグファは世界40の国と地域に支社を置き、100カ国以上でグローバルに展開しています。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先:

日本アグファ・ゲバルト株式会社

グラフィック システム事業部

企画宣伝担当 和田 祐実子

電話:03(6420)2010 FAX:03(6420)2011